

令和4（2022）年度

# ひたちの国際交流

— 日立市の国際交流事業のあらまし —



日立市



# 目 次

はじめに	1
<b>1 市内で実施されている国際交流事業</b>	
(1) 日立市の取組	2
(2) 小・中学校の取組（私立中学校を含む）	4
(3) 高等学校・大学の取組	6
(4) 国際交流活動団体の取組	10
(5) その他市内団体の取組	15
<b>2 国際親善姉妹都市のあらまし</b>	
(1) バーミングハム市（アメリカ合衆国アラバマ州）	17
(2) タウランガ市（ニュージーランド ベイ・オブ・プレンティ地方）	18
(3) 姉妹都市データ（日立市との比較）	19
【参考】姉妹都市とは？	20
<b>3 国際交流よくある質問FAQ</b>	22
<b>4 参考資料</b>	
(1) 日立市内の外国人市民数	25
(2) 茨城県内の外国人市民数	27
(3) 茨城県及び県内市町村の姉妹都市提携状況	29
(4) 日立市の国際交流のあゆみ（年表）	30





## はじめに

このハンドブックは、令和4（2022）年度の日立市及び市内の関係団体などの国際交流活動の紹介、そして国際親善姉妹都市に関する情報などをまとめたものです。

令和4年度は少しずつ新型コロナウイルス感染症の流行が明ける兆しが出てきております。バーミングハム市及びタウランガ市の青少年グループ受入れを始めとする姉妹都市交流事業は昨年度に引き続きが中止や延期となる一方で、交流事業や多文化共生に関する研修会等はオンラインでの開催が浸透してきたことをはじめ、対面での開催も再開してきました。

市内在住の外国人についても、令和3（2021）年12月末現在の46か国・1,487人と比較すると、令和4（2022）年12月末現在は47か国・1,506人と僅かながら増加しており、新型コロナウイルス感染症が終息したわけではありませんが、皆さんが新たな生活へ対応してきている証ではないかと感じております。

このような状況の中、昨年4月にはバーミングハム市との姉妹都市提携40周年を迎えました。残念ながら対面で交流することはできませんでしたが、バーミングハム市長からはお祝いのメッセージをいただき、姉妹都市提携40周年のあゆみとともに市報へ掲載しました。

また、本市では、外国人市民向け無料相談会を始め、外国人に日本語を教えるボランティア講師や、外国人のコミュニケーション支援を行う通訳ボランティア養成のための講座を開催したほか、日立国際交流協議会と連携したメッセージアプリ「LINE」での情報提供を行い、外国人市民に対する生活支援の強化に取り組みました。

このように、今後も国際交流活動団体等と連携しながら、隣人としての外国人が地域に溶け込み、地域に活力を与える存在となるような仕組みづくりを進めていきたいと考えています。

このハンドブックが、市内の国際交流事業を理解する一助となり、私たち一人ひとりが「多文化共生」時代に対応した市民としての意識が深まりますことを期待しています。

本ハンドブックの作成にあたり、御協力いただきました皆様方に厚くお礼を申し上げます。

令和5年3月  
日立市生活環境部文化・国際課

# 1 市内で実施されている国際交流事業

## (1) 日立市の取組

### ◆文化・国際課（国際交流推進主管課） ※ア～エは日立国際交流協会との共催事業 （日立国際交流協会については、P.7 参照）

- ア 「国際親善姉妹都市ウィーク」写真パネル展 \*4月19日（火）から5月1日（日）まで  
姉妹都市交流についてのあらしや、に姉妹都市交流事業についての写真パネルの展示を行い、  
各姉妹都市とゆかりのある記念品等も展示した。
- イ 外国人市民向け無料相談会 \*11月13日（日）  
外国人市民の生活支援の一環として、弁護士による相談会を実施し、5組14人の相談を受けた。
- ウ コミュニティ通訳ボランティア養成講座 \*令和5年3月12日（日）、3月19日（日）/参加者10人  
日本語での意思疎通が困難な外国人市民に対し、市役所での諸手続きを始め、日常生活の様々な場面においてコミュニケーション支援を行う通訳ボランティアを養成する講座を実施した。
- エ その他 \*通年  
市ホームページ及び市公式 SNS（Twitter・Facebook）等で外国人市民向けに新型コロナウイルス感染症や災害に関する情報等の各種生活情報を提供した。



「国際親善姉妹都市ウィーク」写真パネル展



無料相談会



コミュニティ通訳ボランティア養成講座

## ◆人事課

グローバル・イングリッシュ研修（各コース 10 回実施、20 人ずつ）

\*6 月 1 日(水)~8 月 3 日(水) おもてなし前期コース、10 月 5 日(水)~12 月 21 日(水) おもてなし後期コース

6 月 17 日(金)、10 月 27 日(木) 新任職員

市職員の英語力向上のため、茨城キリスト教大学の協力により、本研修独自のテキストを作成し、同大学の教授及びネイティブ・スピーカーから英会話を学ぶ講座を実施した。

## ◆スポーツ振興課 \*通年

### 第 49 回日独スポーツ少年団同時交流

日独両国のスポーツ少年団青少年及び指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的として、両国の文化体験や体験型ゲーム等を通してオンラインで交流した。

## ◆指導課

### ア 外国語指導助手配置事業 \*通年

児童・生徒の英語でのコミュニケーション力の向上や国際教育の充実を図るため、日立市立全小・中学校に外国語指導助手（ALT）を配置している。

### イ 学校通訳ボランティア派遣事業 \*随時

日本語が不自由な児童・生徒（外国人等）が十分な教育を受けられるように、通訳ボランティアを派遣し、対象児童生徒の学校生活の支援を行った。

## 【参考】主な外国語表記刊行物

課所名	刊行物等	発行日等	内容
文化・国際課	外国人市民向け生活ガイドブック	令和 5 (2023) 年 3 月	日立市で生活する際に必要な情報をまとめた外国人向けのガイドブック（英語・中国語・ベトナム語・タガログ語・やさしい日本語）
	日立市文化振興指針（改訂版）	平成 29 (2017) 年 3 月	日立市における今後の文化振興に関する基本的な考え方や、施策の基本的な方向性を示すために改訂した文化振興指針（一部に英語を併記）
	タウランガ市親善訪問団派遣報告書	平成 30 (2018) 年 3 月	タウランガ市親善訪問団派遣における、「第 6 回姉妹都市会議」の結果等をまとめた報告書（英語併記）
広報戦略課	日立市勢要覧	平成 27 (2015) 年 12 月	日立市の歴史、自然、観光、産業などの紹介、総合計画に基づいた現状と将来の展望及び統計資料を掲載した冊子（一部に英訳を併記）
観光物産課	観光ガイドマップ	平成 23 (2011) 年 11 月	日立市の観光地等を紹介したガイドマップ（英語・中国語・韓国語）
	HITACHI CITY VISITOR'S GUIDE	平成 28 (2016) 年 10 月	日立市の観光地、イベント行事、特産品等を紹介したパンフレット（英語）

## (2) 小・中学校の取組（私立中学校を含む）

### ◆諏訪小学校

オーストラリアからの児童の受け入れ \*10月3日（月）～7日（金）

従姉妹が在校生として諏訪小学校へ通学しているオーストラリア人が、日本教育の体験を希望したため、従姉妹と同クラスの6年生の教室で1週間授業を受けた。

### ◆水木小学校

ワールドキャラバン \*12月13日（火）／参加者50人

国際交流や異文化理解教育を目的として、外国人講師（フランス、キルギス出身）2名を招き、各国の生活の様子や文化等について学んだ。



ワールドキャラバンの様子

### ◆大沼小学校

ア 留学生から学ぼう \*6月13日（月）／参加者88人

国際交流や異文化理解教育を目的として、茨城キリスト教大学留学生6名を招き、各国の自然や言語について学んだ。また、児童は大沼小のビオトープを紹介した。

イ 国際交流ウォークラリー \*11月7日（月）／参加者88人

国際交流や異文化理解教育を目的として、日立市近郊に在住する外国人6人と一緒にカレー作りやウォークラリーを行い、英語で交流した。

ウ オーストラリアの小学生との交流 \*6月～12月／参加者80人

国際交流や異文化理解教育及び外国語学習の推進を目的として、オーストラリアニューサウスウェールズ州メルボルン市の日本語を学習している5年生の2学級とオンライン（Zoom）で交流した。また、クリスマスカードの交換を行った。

エ サンタクロースにカードを送ろう \*12月／参加者96人

異文化理解教育や外国語学習の推進を目的として、カナダのサンタクロース宛てにクリスマスカードを送り、返事もらった。

### ◆坂本小学校

ワールドキャラバン \*令和5年2月9日（木）／参加者50人

国際交流や異文化理解教育を目的として、外国人講師（シリア、ベトナム出身）2名及び日本人コーディネーター1人を招き、各国の生活の様子や文化等について学んだ。



### ◆大久保中学校

英語体験活動推進事業「STEP CLUB」への参加 \*8月17日(水)~19日(金) /参加者3人  
英語学習への興味・関心及び英語によるコミュニケーション能力の向上を目的として、英語体験活動推進事業「STEP CLUB」へ生徒3人が参加した。

### ◆日高中学校

キャリア教育プログラム \*12月5日(月)  
生徒へのキャリア教育の一環として、JICA参加者1人を招き、海外での支援活動の紹介と、自己の生き方について話を聞いた。

### ◆坂本中学校

ワールドキャラバン \*12月14日(水) /参加者14人  
国際交流や異文化理解教育を目的として、外国人講師(シリア出身)1人を招き、各国の生活の様子や文化等について学んだ。

### ◆茨城キリスト教学園中学校

ア 茨城キリスト教大学留学生による文化紹介

\*6月7日(火) /外国人講師(キルギス、ウクライナ出身)4人

\*7月5日(火) /外国人講師(ベトナム、韓国出身)5人

\*7月12日(火) /外国人講師(インドネシア出身)3人

国際交流や異文化理解教育を目的として、各回異なる外国人講師を招き、各国の文化紹介と質疑応答を行った。

イ イングリッシュワークショップ \*10月15日(土)~17日(月)

イギリス文化の理解と体験及び語学力向上を目的として、ブリティッシュヒルズでの研修を行った。

ウ 山梨イングリッシュキャンプ \*8月3日(水)~6日(土) /参加者41人

語学力向上を目的として、アチーブイングリッシュキャンプ河口湖校で、フィリピン人講師とオールイングリッシュの環境で3泊4日を過ごした。

エ アメリカの中学生との交流 \*7月21日(木)~28日(木)

異文化理解と語学力向上を目的として、アメリカの中学生2人がキリスト中生徒とともに1週間過ごし、交流した。

オ オーストラリアの姉妹校とのウェブ上での交流 \*11月~令和5年3月

異文化交流を目的としてウェブサービスのPadletを使い、自己紹介動画、街紹介動画、学校紹介動画をオーストラリアの姉妹校と送りあっている。

カ 他国紹介ポスターの作成と掲示 \*4月

異文化理解教育を目的として、国際交流委員が他国を紹介するポスターを作成し、廊下に掲示した。

### ◆日立第一高等学校附属中学校

外国人留学生との交流 \*12月15日(木)

京都語学研修中にインドネシア・エジプト・カナダ等の留学生とともに京都の町を散策することでお互いの文化について理解を深めた。

### (3) 高等学校・大学の取組

#### ◆日立第一高等学校

ア 外国人による英語プレゼンテーション・会話の講座 \*7月19日(火)、9月13日(火)、9月20日(火) /参加者9人

英語でのコミュニケーション能力の向上を目的として、英語圏の外国人講師1人を招き、様々な表現などを学んだ。

イ ワールドキャラバン \*8月2日(火) /参加者9人

国際交流や異文化理解教育を目的として、外国人講師(ポーランド出身)を招き、ポーランドの文化やSDGsについて学んだ。

ウ ブリティッシュヒルズ研修 \*7月26日(火)、27日(水)

英語でのコミュニケーション能力の向上や海外のSDGsについての取り組みを学ぶことを目的として、ブリティッシュヒルズ。

エ カナダオンライン研修 \*10月12日(水)~10月15日(土) /参加者9人

海外研修事業の代替えとして、カナダ人大学生とオンラインで日本やSDGsについてのプレゼンテーションを行った。

オ ひたち国際文化まつり \*11月13日(日)

カナダオンライン研修で学習した、SDGsに関する内容をまとめたポスターを作成し、行事に参加した国際交流団体との交流やディスカッションを行った。

#### ◆日立第二高等学校

ア 国際教育講演会 \*11月16日(水) /参加者151人

国際理解教育を目的として、日立さくら日本語学校の留学生(ウクライナ、ベトナム、ネパール出身)3人を招き、各国の文化紹介や現状について話を聞いた。

イ English Day \*11月16日(水)

国際理解教育や語学力向上を目的として、外国人講師(オーストラリア、アメリカ出身)を招き、英語を使用したアクティビティを行ったり、アメリカのサンクスギビングデイについての発表を聞いた。

#### ◆多賀高等学校

高校生国際協力実体験プログラム2022(茨城県) \*12月3日(土) /参加者4人

発展途上国の現状や日本の国際協力について理解を深めることを目的として、こども国連環境推進協会事務局長やJICA研修員を講師として、SDGsワークショップやJICA研修生との交流会等を行った。

## ◆茨城キリスト教学園高等学校

### ア 茨城キリスト教大学留学生による文化紹介

\*6月7日(火) / 外国人講師(キルギス、ウクライナ出身) 4人

\*7月5日(火) / 外国人講師(ベトナム、韓国出身) 5人

\*7月12日(火) / 外国人講師(インドネシア出身) 3人

国際交流や異文化理解教育を目的として、各回異なる外国人講師を招き、各国の文化紹介と質疑応答を行った。

### イ カンボジアの Beatitude Cambodian School の生徒とのオンライン交流 \*7月2日(土)

異文化理解や国際交流の推進を目的として、「Virtual Love and Peace」と題し、カンボジアの学校の生徒たちと事前に取り交わしてあった質問事項をオンラインで直接やりとりし、お互いの学校や文化についてプレゼンテーションを行った。

### ウ QUEST Summer Camp in NISEKO \*8月8日(月)~12日(金) / 参加者 17人

異文化理解や国際交流の推進等を目的として、英語のプレゼン力をネイティブの講師から教わるとともに、ニセコの企業家やビジネスマンとの交流やワークショップを実施する北海道ニセコでの探求型英語キャンプを行った。

### エ 学園祭におけるカンボジア産の雑貨販売 \*11月3日(木)

カンボジアの学校への支援の一環として、学園祭でカンボジア産の雑貨を販売した。

### オ 長期留学生の受け入れ \*4月~令和5年3月 / 参加者 3人

異文化理解や国際交流の推進を目的として、タイ・ドイツ・アメリカの留学生の受け入れた。

### カ 米国短期留学プログラム 2022 \*令和5年2月27日(月)~3月10日(金) / 1年生 11人、2年生 9人

アメリカのオクラホマ州にある姉妹校 Ada High school と Byng High School にそれぞれ生徒をホームステイさせ、2週間の間、授業を受けたり、さまざまなイベントに参加した。

### キ 国際理解講演会 \*令和5年3月7日(火) / 1・2年生約 550人

異文化理解や国際教養力の育成を目的として、「世界を変えたロシアとウクライナの戦争」と題し、ウクライナ出身の茨城キリスト教大学文学部現代英語学科講師と茨城キリスト教大学に留学しているウクライナ人の学生2人が登壇して、ウクライナとロシアの現状を学んだ。

## ◆明秀学園日立高等学校

### ア Aコース海外研修(マレーシア) \*令和5年2月16日(木) / 2学年 41人

2学年が海外研修中にマレーシアのクアラルンプールにある Kolej Vokasional ERT Setapak(専門学校)を訪問し交流した。

### イ ST・Sコース海外研修(カナダ) \*令和5年3月4日(土)、6日(月) / 2学年 57人

2学年が海外研修中にカナダにある大学と高校に訪問し交流した。

ウ 「インドと日本」フレンドシップ \*令和5年3月～  
交換留学の実施前にお互いの言語や歴史などの文化交流をオンラインで実施した。

エ 「オーストラリアと日本」フレンドシップ \*令和5年2月～  
交換留学の実施前にお互いの言語や歴史などの文化交流をオンラインで実施した。

#### ◆茨城キリスト教大学

ア 留学生の受入れ \*4月～/受入人数 1人  
中華人民共和国からの留学を受け入れた。

#### イ 交換留学生の受入れ

日本語の習得及び日本文化等について理解を深めるとともに学生間の交流を図ることを目的として、ベトナム等の協定校から交換留学生を受入れた。

- (ア) ベトナム（フエ大学外国語大学）\*4月～/受入人数2人
- (イ) ベトナム（フフリット大学）\*4月～/受入人数2人
- (ウ) キルギス共和国（ビシケク国立大学）\*4月～/受入人数4人
- (エ) インドネシア（リアウ大学）\*4月～/受入人数3人
- (オ) ウクライナ（リヴィウ国立大学）\*9月～/受入人数3人
- (カ) 韓国（明知大学校）\*9月～/受入人数1人
- (キ) イタリア（ミラノ大学）\*9月～/受入人数1人

#### ウ 交換留学生の派遣

外国語の習得及び各国の文化・情勢等について理解を深めることを目的として、諸外国の協定校に生徒を派遣している。

- (ア) カナダ（ファンシヨーカレッジ）\*8月～/派遣人数3人
- (イ) アメリカ（ウェストアラバマ大学）\*8月～/派遣人数1人
- (ウ) アメリカ（オクラホマクリスチャン大学）\*8月～/派遣人数3人
- (エ) スウェーデン（リンネ大学）\*8月～/派遣人数2人
- (オ) 韓国（韓瑞大学校）\*8月～/派遣人数1人

#### エ セメスター留学\*9月～令和5年3月/派遣人数1名

英語力の向上及び異文化体験を目的として、イギリスの協定校へ学生を派遣して、集中英語コースに参加した。

#### オ 海外語学研修

外国語の習得及び各国の文化・情勢等について理解を深めることを目的として、諸外国の協定校で開講される短期講座に生徒を派遣している。

- (ア) 韓国（明知大学校）\*令和4年8月～9月/派遣人数7人
- (イ) アメリカ（アシュランド大学）\*令和4年8月～9月/派遣人数1人
- (ウ) アメリカ（オクラホマクリスチャン大学）\*令和5年2月～3月/派遣人数15人
- (エ) アメリカ（アシュランド大学）\*令和5年2月～3月/派遣人数1人

## カ 留学生による文化紹介

異文化理解等を目的として、校内外の各イベントにおいて交換留学生による自国の文化等の紹介を行った。

- (ア) 茨城キリスト教学園チャベル
- (イ) 茨城キリスト教学園高等学校「文化紹介プログラム」
- (ウ) 茨城キリスト教大学公開講座「夏休み子どもアンネローゼ」
- (エ) 茨城キリスト教大学学園祭 \*11月3日(木)
- (オ) ひたち国際文化まつり \*11月13日(日)
- (カ) 日立市立大沼小学校「留学生から学ぼう」 \*6月13日(月)

## キ 茨城キリスト教学園外国人留学生奨学援助金 \*通年

外国人留学生及び大学付属研究所等に所属して研究を行う外国人研究生に、就学・研究の援助金を支給した。

## ク 大学パンフレット(英語版) \*通年

外国人留学生等に大学紹介を行うための英字パンフレットを発行している。

## ◆茨城大学工学部

### ア ミシガン州立大学とのオンライン交流

\*10月6日(木)、20日(木)、11月17日(木)、12月8日(木) / 各回2人

アメリカで日本語を勉強している学生と日本語または英語で交流した。

### イ ゲーム&座談交流会 \*12月9日(金) / 留学生9人、工学部学生4人

ゲーム(ジェンガ・ワードウルフ)を通して留学生と日本人学生が交流した。



#### (4) 国際交流活動団体の取組

##### ◆日立国際交流協議会 (事務局：日立市文化・国際課) ※市との共催事業については、P.2 参照

昭和 55 (1980) 年にバーミングハム市 (アメリカ合衆国アラバマ州) から姉妹都市提携の申出を受けたことがきっかけとなり、翌年に市内企業・教育機関・市民団体等を会員とした「姉妹都市提携協議会」として発足し、バーミングハム市との姉妹都市提携促進活動を行った。その後、昭和 57 (1982) 年に姉妹都市提携協議会を発展させた「日立姉妹都市協議会」を発足して、同年 4 月 23 日にバーミングハム市との姉妹都市提携に尽力した。

昭和 63 (1988) 年 4 月 17 日にはタウランガ市 (ニュージーランド) とも姉妹都市提携し、市民の国際交流活動も広がりを見せていたことから「日立姉妹都市協議会」を発展的に改組し、平成元 (1989) 年 5 月に「日立国際交流協議会」として発足した。

現在は、各種機関・団体のネットワークを通じて、姉妹都市交流を始めとした国際交流や外国人市民への生活サポートなどの活動を市民レベルで推進し、市の国際交流活動の中心的な役割を担っている。

\*設立年月日 昭和 56 (1981) 年 10 月

\*代表者 ジム・D・バットン (会長)

\*会員数 34 団体 (令和 5 (2022) 年 3 月末現在)

\*連絡先 日立国際交流協議会事務局 (日立市文化・国際課内)

TEL : 0294 (22) 3111 (内線 535) メールアドレス : kokubun@city.hitachi.lg.jp

ア 日本語ボランティア養成講座 \*7月1日(金)~9月16日(金)の全10回/参加者11人

市内の日本語教室において、外国人に日本語を教えるボランティア講師を養成するため、初心者を対象とした入門講座を実施した。

イ 日本語ボランティア・ステップアップ講座

\*令和5年1月18日(水)~2月15日(水)の全4回/参加者18人

市内の日本語教室において、外国人に日本語を教えるボランティアの能力向上を図る講座を実施した。(第3回はオンラインで実施。)

ウ 第18回フレンドシップ・キルト展 \*令和5年3月1日(水)~3月5日(日)/来場者1,038人

キルト文化を通じた各姉妹都市との友好親善交流を目的として、日立市内を始め、国内外の姉妹都市、親善・友好都市(バーミングハム市、タウランガ市、桐生市、山辺町)のキルト愛好家の作品や、それぞれの都市に関するパネルの展示等を実施した。

エ 国際交流事業助成金の支給 \*通年

会員団体が国際交流事業又は日本語教室運営等を実施する際の活動助成金を支給した。



日本語ボランティア養成講座



日本語ボランティア・ステップアップ講座



フレンドシップ・キルト展 会場の様子

#### ◆フレンドリーあんず

「茨城アジア教育基金」を支える会に協力し、平和な国際社会を目指して世界諸国の人々と交流し、互いに理解を深め、共に生きる喜びを分かち合うことを目的に活動している。

\*設立年月日 昭和 60 (1985) 年 7 月 19 日

\*代 表 者 長山 明子 (会長)

\*会 員 数 48 人 (令和 5 (2023) 年 3 月現在)

\*連 絡 先 長山 明子

TEL : 0294 (36) 5440 メールアドレス : a\_naga\_a@yahoo.co.jp

ア 外国人市民向け日本語教室 \*通年 (毎週火曜日、金曜日)

イ 第 20 回ひたち国際文化まつりでの世界の文化紹介 \*11 月 13 日 (日)

広く市民に国際理解を深めてもらうことを目的に、活動内容を写真やパネルで紹介した。

## ◆国際交流ボランティアネットワークさくら

ボランティア一人ひとりをネットワークすることを目的に発足。「身近に出来ることから国際交流を考え行動しよう」をモットーに、さくらの五弁の花びらにちなみ、5つの分野（語学、支援、研修、文化交流、ホームステイ・ビジット）で活動を展開している。

\*設立年月日 平成2（1990）年11月10日

\*代表者 臼井 多賀子（代表世話人）

\*会員数 30人（令和5（2023）年3月現在）

\*連絡先 臼井 多賀子

TEL：0294（34）6257 メールアドレス：takako\_usui2002@yahoo.co.jp

ア 外国人市民向け日本語教室 \*通年（毎週木曜日、土曜日）

イ さくら講演会 \*7月16日（土）／参加者38人

設立30周年を迎えた節目として、常磐大学学長を講師として招き、真の異文化共生やSDGsへの取り組みについて、「日立・茨城から世界へ私たちにできること」と題した講演会を行った。

ウ インターナショナルトーク \*11月13日（日）／参加者120人

異文化への理解を目的として、外国人パネリスト6名による意見発表や質疑応答を行った。

※第20回ひたち国際文化まつりにおいて開催

キウイ バルカン ヒタチ

## ◆KIWI-VULCAN-HITACHI

日立市の国際親善姉妹都市であるタウランガ市・バーミングハム市の市民と、さまざまな交流を通して友情を育み、互いの文化を学び、より深く理解することを目標に活動している。

\*設立年月日 平成15（2003）年10月

\*代表者 森村 由美子（会長）

\*会員数 15人（令和5（2023）年3月現在）

\*連絡先 森村 由美子

TEL：0294（37）1483 メールアドレス：morimura@dune.ocn.ne.jp

日立市産業祭での国際親善姉妹都市紹介 \*11月12日（土）、13日（日）

日立市産業祭において、国際親善姉妹都市であるタウランガ市とバーミングハム市の紹介を行った。



## ◆日本語の部屋

県民大学「日本語指導基礎講座」修了生によって設立。会員の地域生活者としての力と日本語支援スキルを活用して、外国人市民のための日本語教室の開催を始め外国人学習者との交流事業等を実施している。

\*設立年月日 平成 21 (2009) 年 4 月 1 日

\*代 表 者 遠藤 愛子 (代表)

\*会 員 数 13 人 (令和 5 (2023) 年 3 月現在)

\*連 絡 先 遠藤 愛子

TEL : 090 (6834) 1119 メールアドレス : makemehappy3719@yahoo.co.jp

ア 外国人市民向け日本語教室 \*通年 (毎週木曜日、土曜日)

イ 交流会 \*通年 (数回)

例年、バーベキュー大会やそば打ち体験、盆踊り参加などを通して会員や地域の人々と学習者の交流を深めている。

## ◆ガールスカウト日立市国際交流委員会

ガールスカウトの教育理念に基づき、少女たちを支える指導者の育成と資質向上を目指した活動を実施している。

\*設立年月日 昭和 54 (1979) 年 4 月

\*代 表 者 菊地 清恵 (委員長)

\*会 員 数 35 人 (令和 5 (2023) 年 3 月現在)

\*連 絡 先 菊地 清恵

メールアドレス : g.s.kokusai@gmail.com

オンライン交流会 \*4月10日(日)、6月12日(日)、10月10日(月) / 参加者延べ60人

国際交流の推進を目的に、姉妹都市であるニュージーランドのガールガイドとオンラインで交流した。



オンライン交流会の様子

## ◆ひたちとアジアの文化交流をすすめる会

アジア文化を広く市民に紹介し、その裾野を広げていくため、「アジア諸国との文化交流」をキーワードに組織された市民ボランティアネットワーク。「ひたち国際文化まつり」の開催を中心に、各種活動を実施している。

- \*設立年月日 平成9（1997）年4月
- \*代表者 小澤 紀夫（会長）
- \*会員数 114人（令和5（2023）年3月現在）
- \*連絡先 ひたちとアジアの文化交流をすすめる会事務局  
（日立シビックセンター交流事業課内）  
TEL：0294（24）7711 メールアドレス：salon@civic.jp

ア アジア文化講演会 \*5月21日（土）／参加者33人

ベトナム在住経験のある日本人を招き、「わたしが体験したベトナム」をテーマとした講演会を行った。

イ 第20回ひたち国際文化まつりの開催 \*11月13日（日）／参加者約2,800人（延べ人数）

広く市民に世界各国の文化を紹介し、国際交流や異文化に関する理解を深めてもらうことを目的として国際文化まつりを開催。日立市内の国際交流団体の活動紹介や、市内の高校生へ活動紹介などを実施した。

ウ 研修会「やさしい日本語の使い方—実践編」\*令和5年2月

日本人講師2人と留学生を招き、やさしい日本語の使い方について学び、日立さくら日本語学校に通う留学生と対話の実践を行った

エ 料理サロン「ベトナム料理講座」 \*令和5年3月4日（土）

異文化理解を目的に、ベトナム人講師を招き、ベトナム料理講座を開催した。  
方を学んだほか、シリアの文化や習慣についての話を聞いた。

## ◆日立市日中友好協会

平成8（1996）年5月に「茨城県日中友好協会」が発足したことを受けて結成。日本と中華人民共和国の様々な分野（文化、教育、経済）に渡る友好交流や留学生・研修生等との交流、支援を目的に活動している。

- \*設立年月日 平成8（1996）年6月
- \*代表者 藤井 生美（会長）
- \*会員数 60人（令和5（2023）年3月現在）
- \*連絡先 藤井 生美  
TEL：090-2912-4461 メールアドレス：fujii@cybtech.co.jp

パンダアート日立市内展 \*11月13日（日）／参加者約800人

茨城大学中国人留学生学友会のメンバーも参加したパンダアート市内展を開催し、パンダ福笑いなどの来場者参加型のゲームを行った。

※第20回ひたち国際文化まつりにおいて開催

## (5) その他市内団体の取組

### ◆ひたち生き生き百年塾

- ア 市民向け講座「インドの食と文化」 \*6月25日(土) /参加者34人  
異文化理解を目的に、インド出身の講師招き、インド各地方の食べ物やスパイスの種類とカレーの作り方、チャイの淹れ方などの話を聞き、クイズで交流した。
- イ 国際交流講座世界おもしろ発見クラブ「インドを学ぼう」 \*7月17日(日) /参加者19人  
異文化理解や国際交流の推進を目的に、インド出身の講師を招き、学校生活や市街地の様子、宗教などについて話を聞いた。
- ウ 国際交流講座世界おもしろ発見クラブ「外国人ゲストとお話しよう」 \*8月21日(日) /参加者16人  
異文化理解や国際交流の推進を目的に、外国人講師(スペイン・イラン・タイ出身)を招き、グループに分かれて各国の様子や人気のスポーツなどについて話を聞いた。
- エ 世界の遊びを体験しよう \*11月13日(日) /参加者160人  
外国人講師(中国・スペイン出身)を2名招き、ひたち国際交流まつりの体験ブースとして、各国の遊びを体験するブースを開催した。
- オ 国際交流講座世界おもしろ発見クラブ「中国を知ろう」 \*11月20日(日) /参加者12人  
異文化理解や国際交流の推進を目的に、中国出身の講師を招き、学校生活や食文化などについて話を聞いた。
- カ 国際交流講座世界おもしろ発見クラブ「10Photo Exchange メール交換」  
\*10月12日(水)、令和5年2月  
交流のあるイギリス人の方から、エリザベス女王在位70周年のお祝いなど町のイベントや歴史についてのレポートが届いた。第2回ではお返しとして、クラブメンバーの「好きなこと」について纏め、イギリスへ送付した。

### ◆日立さくら日本語学校

- ア 外国人への学習支援 \*通年  
留学生、就労者への日本語指導及び企業への日本語講師派遣を行った。
- イ ウクライナ避難者学生受入れ \*7月24日(日)~3月10日(金)  
市と連携してウクライナ避難民の学生を受け入れて、無償で授業を行った。
- ウ 日本語学校紹介 \*11月13日(日)  
日立さくら日本語学校とはどのような団体であるのか、また、留学生の入国から進学までの流れなどを紹介した。  
※第20回ひたち国際文化まつりにおいて開催
- エ 成果発表会 \*2月10日(金)  
学生が日頃から勉強している日本語の成果を自治体職員や地域住民の方々に向けて発表した。

オ やさしい日本語講座 \*2月22日(水)

外国人市民により伝わりやすい「やさしい日本語」の講座を実施した。講座の中ではやさしい日本語概論と留学生とやさしい日本語で交流するワークショップを実施した。

カ 令和4年度受入施設等職員研修 講師派遣 \*令和5年3月9日(木)、16日(木)、23日(木)

外国人スタッフを受け入れるための施設職員向けの講座へ日本語講師を派遣した。

キ 外国人ビギナーズ研修 講師派遣 \*令和5年3月10日(金)、17日(金)、24日(金)

「外国人介護人材受入環境整備事業」の一環として、技能実習生の日本語の指導のために講師を派遣した。

#### ◆日立ロータリークラブ

ア ネパールの貧しい子供たちへの支援 \*令和5年3月

下館ロータリークラブと共同で、県内ロータリークラブからの賛助金をあわせてネパールへ送金し、貧しい子供たちの文具やスポーツ用品を寄贈する。

イ Urology Microsurgery Equipment for Trat Hospital \*令和5年3月21日(火)

ロータリー財団のグローバル補助金事業として、タイ国パツムワンのトラート病院の泌尿器科に泌尿器マイクロサージャリー用の独自の医療機器を寄贈する事業支援を行った。

#### ◆日立北ロータリークラブ

米山記念奨学生の受入れ \*通年

茨城大学の米山記念奨学生(マレーシア出身)を準世話クラブとして受入れ、支援した。

#### ◆日立南ロータリークラブ

ア 米山記念奨学生の受入れ \*通年

茨城大学の米山記念奨学生(中国出身)を世話クラブとして受入れ、支援した。

イ ワイキキロータリークラブ主催イベントへの参加 \*9月30日(金)~10月6日(木)

国際交流の推進を目的として、ワイキキロータリークラブが主催するエクストラバガンザ等に参加し、交流を図った。

#### ◆日立港ロータリークラブ

米山記念奨学会世話クラブ \*通年

米山記念奨学生を世話クラブとして受入れ、支援した。

#### ◆日立ライオンズクラブ

中古メガネ回収、物資送付

眼鏡の購入が困難な海外諸国への支援を目的として、市内4か所の図書館及び日立市役所1階、協力眼科5か所にメガネ回収BOXを設置し、市民から寄付された中古メガネを、アメリカのライオンズクラブへ送付した。

## 2 国際親善姉妹都市のあらまし

### (1) バーミングハム市（アメリカ合衆国アラバマ州）

バーミングハム市は、アメリカ合衆国南東部アラバマ州の中心都市です。市内には、日本庭園も含め数多くの公園があり、豊かな生活環境を持ったまちです。まちのシンボルである「バルカン像」（ローマ神話に登場する火と鍛冶の神）は、このまちが鉄鋼業によって目覚ましい発展を遂げた歴史を表しています。

現在は、がん治療、エイズ研究、臓器移植などの最先端診療施設を有するアラバマ大学バーミングハム校医学部をはじめ、多くの先端専門医療センターが集積し、国際的な医療の中心地となっています。また、ロボット、航空・宇宙工学、バイオテクノロジーなどのハイテク企業が数多く進出し、経済活動が活発なまちとしても知られています。

また、バーミングハム市は、『青春』の詩で知られるサミュエル・ウルマンの出身地としても有名で、ウルマン記念館や南部最大の市立美術館、飛行博物館などがある文化都市です。毎年、「アート・フェスティバル」など数多くのイベントが開催され、世界の様々な国々との芸術文化交流を行っています。

日立市と同じく鉱業のまちとして発展した点がきっかけとなり、昭和 57（1982）年 4 月 23 日に国際親善姉妹都市の提携をしました。その後、市民訪問団・市内高校生のバーミングハム市訪問、キルト文化を通じた交流など幅広い交流が行われています。



バーミングハム市の中心市街地



サミュエル・ウルマンの胸像

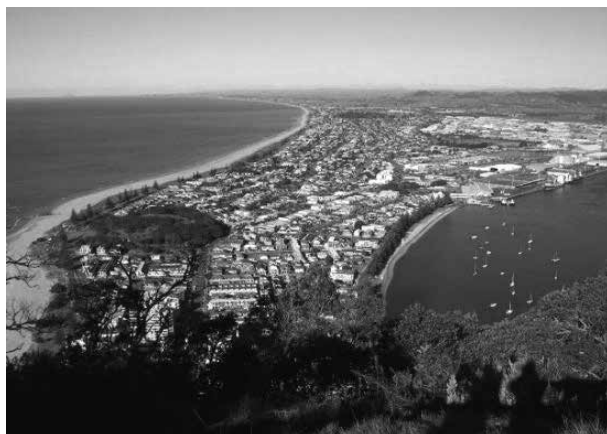
## (2) タウランガ市（ニュージーランド ベイ・オブ・プレンティ地方）

タウランガ市は、ニュージーランド国北島の北東部に位置し、プレンティ湾という美しい海に面したまちです。「タウランガ」とは、この地域の先住民であるマオリ族の言葉で、“<sup>いかり</sup>囲まれた水” “カヌーの錨を降ろす場所” という意味です。

古くはカヌーによる海上交通の中継地として発展してきた歴史があり、現在でもニュージーランド国最大規模の商業港であるタウランガ港を経済の中心に発展しています。近年では、国内で最も人口の伸びをみせるまちの一つとなり、平成 30（2018）年の人口は約 14.1 万人と、平成 18（2006）年国勢調査時の約 10.4 万人に比べると、12 年間で約 35.5%の増加となっています。

気候は一年中温暖で、キウイフルーツやアボカド、柑橘系の果樹栽培が盛んです。また、豊かな自然と美しい海岸線を持ち、国内でも有数のリゾート地でもあります。特に、夏の間はマリンスポーツを楽しむ観光客でにぎわい、訪れる観光客は年間約 50 万人にもものぼります。

日立市とは、市民みこし訪問団や青少年の交流を通して、昭和 63（1988）年 4 月 18 日に国際親善姉妹都市の提携をしました。その後、ロータリークラブ、ガールスカウトの姉妹クラブの提携や文化・スポーツ交流など幅広い交流が行われています。



タウランガ市全景



タウランガ市内のマリーナ

### (3) 姉妹都市データ（日立市との比較）

※令和5（2023）年3月末日現在のデータに基づき作成

項目	バーミングハム市	タウランガ市	日立市
市章			
国	アメリカ合衆国	ニュージーランド	日本国
市制施行	明治4(1871)年12月19日	昭和38(1963)年4月17日	昭和14(1939)年9月1日
市長	ランドル・ウッドフィン	アン・トーリー ※執行官代表者（委員長）	小川春樹
位置	北緯 33 度 34 分 西経 86 度 45 分	南緯 37 度 42 分 01 秒 東経 176 度 09 分 51 秒	北緯 36 度 35 分 56 秒 東経 140 度 39 分 02 秒
面積	393.5 km <sup>2</sup>	168 km <sup>2</sup>	225.73 km <sup>2</sup>
人口	206,151 人 (令和3(2021)年統計)	158,300 人 (令和4(2022)年統計)	168,632 人 (令和4(2022)年12月1日現在)
年平均気温	17℃ (令和3(2021)年平均気温)	16.1℃ (令和3(2021)年統計)	14.8℃ (令和4(2022)年平均気温)
年間降水量	1,206 mm (令和3(2021)年統計)	955 mm (令和3(2021)年統計)	1,010 mm (令和4(2022)年統計)
通貨	アメリカドル	ニュージーランドドル	日本円
主要産業	医療サービス 医療機器製造業	園芸（キウイフルーツ・亜熱帯性果実）、農業、草花栽培、港湾業	工業 農業
議員の数	9 人	10 人	28 人
日本からの距離	約 11,600 km	約 8,900 km	—
日本との時差 (夏時間)	11～3月 -15 時間 4～10月 -14 時間	4～9月 +3 時間 10～3月 +4 時間	—
飛行機での 所要時間	約 14 時間	約 10～13 時間	—
姉妹都市提携 年月日	昭和 57 (1982) 年 4 月 23 日	昭和 63 (1988) 年 4 月 18 日	—

## 【参考】 姉妹都市とは？

### ■姉妹都市提携の定義・意義とは

世界で最初の姉妹都市提携は、明治 26（1893）年にスイスのベルン市とアメリカ合衆国ニューベルン市との間で締結されたと言われています。

わが国における海外自治体との姉妹都市交流提携は、昭和 30（1955）年 12 月に長崎市とセントポール市（アメリカ合衆国ミネソタ州）の間で結ばれたことに始まり、それから半世紀以上が経った現在、姉妹都市提携をしている自治体は 894 団体、提携件数は 1,796 件（都道府県 173 件、市区町村 1,623 件）で、相手国は 73 カ国・地域に達しています（※）。

※令和 5（2023）年 3 月 14 日現在（（一財）自治体国際化協会調査）

姉妹都市の定義については、法律上定められているものはありません。本来、交流というものは、人と人とが触れ合うことであり、自由な発想のもとに行われるものであることから、定義づけをすることにはなじまないという理由からと考えられます。

広辞苑（岩波書店）によると、姉妹都市とは「文化交流や親善を目的として結びついた国際的な都市」と説明されています。

（一財）自治体国際化協会調査では、姉妹都市に関する統計処理を行ううえで、一定の判断基準を設けないと不都合が生じることから、次に掲げる要件のすべてに該当するときは、「姉妹（友好）自治体」として取り扱うこととしています。

- (1) 両首長による提携書があること
- (2) 交流分野が特定のものに限られていないこと
- (3) 交流するに当たって、何らかの予算措置が必要になるものと考えられることから、議会の承認を得ていること

また、「姉妹都市」「友好都市」「友好交流都市」などの名称により、自治体同士で行われている都市間交流について上記 3 点の基準を満たしていれば、（一財）自治体国際化協会調査では「姉妹（友好）自治体」として取り扱うこととしています。

わが国の最初の姉妹自治体提携は、1955 年（昭和 30 年）12 月に長崎市とアメリカ合衆国セントポール市との間に締結されました。

姉妹自治体提携数は、年々増加し、1993 年 12 月には 1,000 件、現在では 1,700 件を超えています。

姉妹自治体交流は自治体が行う国際交流を推進する典型的な手法の一つです。住民が参加できる機会も多いことから、国際交流施策の中核として重要なものとなっています。

姉妹自治体交流には、相互理解や国際親善の推進、地域の振興・活性化、さらには国際社会の平和と繁栄への貢献といったことが期待されています。

姉妹自治体交流を通じて、相手地域のニーズを的確に把握し、きめ細かな交流を行うことにより、儀礼的な友好親善を目的とするものにとどまらず、人的交流、文化交流、さらには、技術・経済交流といった共通の目的を持ち、相互協力まで発展しているものもあります。



## ■姉妹都市提携の上位 10 カ国

①	アメリカ合衆国	460 件
②	中国	379 件
③	大韓民国	166 件
④	オーストラリア	108 件
⑤	カナダ	72 件

⑥	ブラジル	58 件
⑦	ドイツ	56 件
⑧	フランス	54 件
⑨	ロシア連邦	48 件
⑩	ニュージーランド	44 件

## ■姉妹都市の呼称の由来

日本では「姉妹都市」という呼び方が一般的に使用されていますが、これは元々アメリカで「Sister city」と呼ばれたことから、それを直訳した「姉妹都市」という呼び方が今日まで多く採用されてきたものと思われます。

なお、イギリスでは「Twin City (双子都市)」と呼ばれることが多く、フランスでは「ville jumelée」、イタリアでは「città gemellare」と「Twin」に相当する言葉が使われているようです。

ドイツでは「Partnerstadt (パートナー都市)」と呼ばれることが多く、オーストリアでは「Schwesterstadt」、スペインでは「ciudad hermana」、ポルトガルでは「cidade irma」という「Sister」に相当する言葉、ロシアでは「Города-Побратимы」という「Brother」に相当する言葉が使われています。

また、中国との提携の場合には、「姉妹」を用いると、どちらが姉か妹かという上下関係の問題が生じることから、「姉妹都市」という言い方は避け「友好都市」という呼称が用いられています。

韓国との提携の場合には従来、国（行政自治部）の承認を得たものが「姉妹都市」とされていました。しかし、2004 年から行政自治部の承認が不要となったので「姉妹都市」「友好都市」の差異はないと思われれます。

最近行われている提携では、中国との間だけでなくいろいろな国との間で「友好都市」、「友好交流都市」などという名称が見受けられるようになりました。「姉妹都市の前段階としての友好都市締結」や「姉妹都市交流ではないが、交流は続けたい」ということで「友好都市」提携を結んでいる自治体も多く見られます。

【参考文献：（一財）自治体国際化協会「姉妹（友好）提携情報」より】



### 3 国際交流よくある質問 FAQ

#### (1) 外国語で相談したいときは…？

(公財) 茨城県国際交流協会では外国人の皆さんのために、法律、在留、労働、結婚、教育、そのほか生活全般についての相談受付をしています。相談できる言語は曜日によって異なりますので、電話・面接などでご相談ください。相談料金は無料です。

また、法律上の専門的な相談が必要な方のために、無料の弁護士相談会をしています（予約が必要です）。

外国人相談センター TEL 029-244-3811（午前8時30分から午後5時まで）

#### 各言語相談日一覧

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
日本語・英語・その他				
ベトナム語	韓国語	タイ語	ポルトガル語	タイ語
		中国語	タガログ語	
中国語 (午後1時30分から)	スペイン語	ベトナム語	インドネシア語	シンハラ語 (午後1時30分から)

※その他の言語については、相談員が翻訳機器等を活用するなどして対応します。

#### (2) ホームステイの受け入れをやってみたいときは…？

海外から青少年グループなどが来市する際に、市ではホームステイのご協力をいただけるホストファミリーを募集しています。ホストファミリーの募集は、市報等などでお知らせします。



#### (3) 国際交流に関するボランティア活動をしてみたいときは…？

市内には、国際交流を目的として活動している、さまざまなボランティア団体があります。団体によって活動内容が異なりますので、詳細については、各団体にお問い合わせください。

※各団体の紹介及び問合せ先は、P. 7～P. 14の国際交流活動団体のページに記載してありますので、お気軽に連絡してください。

(連絡先の掲載がない団体については、文化・国際課にお問い合わせください。)

#### (4) 日本語ボランティアとして活動したいときは…？

日立市には、日本語ボランティア活動を行う団体が3つあり、それらの教室に所属することで活動することができます。外国人市民に日本語を教える日本語ボランティア活動をするためには、特別な資格や条件は必要ありません。

団体によって開催曜日や時間が異なりますので、詳しくは、各団体の日本語教室の担当者にお問い合わせください。

#### ■国際交流ボランティアネットワークさくら

	教室 1	教室 2
曜日	木曜日	土曜日
時間	10：00～11：30	10：00～11：30
会費	2,000円（6ヶ月）	
場所	教育プラザ （日立市神峰町 1-6-11）	女性センター （日立市鮎川町 1-1-10）
連絡先	飯村 健二 0294-24-2168	勝木 由紀子 0294-35-3475

#### ■フレンドリーあんず

	教室 1	教室 2
曜日	火曜日	金曜日
時間	19：00～20：50	14：00～16：00
会費	300円（1ヶ月）	
場所	女性センター （日立市鮎川町 1-1-10）	教育プラザ （日立市神峰町 1-6-11）
連絡先	庄司 寿枝 0294-42-4448	宇都木 和子 0294-42-9572
	大久保 和朗 090-4280-3278	

#### ■日本語の部屋

	教室 1	教室 2
曜日	木曜日	土曜日
時間	18：00～20：00	10：00～12：00
会費	1,000円（2ヶ月）	
場所	十王交流センター （日立市十王町友部 129-2）	県北生涯学習センター （日立市十王町友部 2581）
連絡先	遠藤 愛子 090-6834-1119	

## ■ 国際交流ボランティアネットワークさくら

【担当者コメント】 毎週対面形式で楽しく活動しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン形式での受講も可能です。受講者は初めて日本語を勉強する方から、日本語能力試験 N1 を合格された上級者の方まで幅広く在籍しています。外国人の皆さん！私たちと楽しく日本語を勉強しませんか。



## ■ フレンドリーあんず

【担当者コメント】 みなさん一緒に日本語ボランティア活動をしませんか！日本にいながら国際交流が出来ます。世界の文化を身近に感じられます。外国人の皆さん、フレンドリーに日本語と日本について一緒に楽しく学びましょう！働いている人、学生、主婦の皆さん、どなたでも、いつでも大歓迎です。



## ■ 日本語の部屋

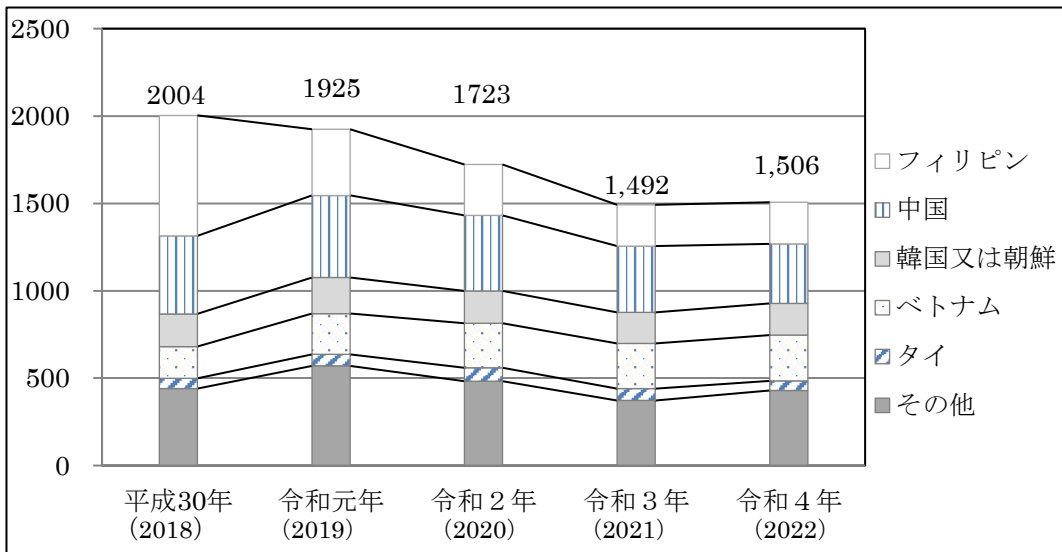
【担当者コメント】 日本語の部屋の教室は JR 十王駅の近くです。学習者一人一人のレベルや目的に合わせた勉強をしています。ぜひ一緒に日本語を勉強しましょう！



## 4 参考資料

### (1) 日立市内の外国人市民数

#### ア 外国人数の推移



#### イ 国別外国人数の推移

(各年12月末日現在 単位：人)

国名 \ 年	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
フィリピン	690	379	291	236	238
中国	446	470	432	379	341
韓国又は朝鮮	187	206	186	179	180
ベトナム	182	234	255	258	262
タイ	59	66	76	68	55
米国	45	40	40	38	38
インド	41	52	39	33	39
マレーシア	41	40	40	32	29
ネパール	59	69	43	43	57
スリランカ	28	35	20	21	24
インドネシア	21	29	26	21	47
ブラジル	23	68	44	24	21
ペルー	15	15	14	10	10
英国	14	12	12	8	8
バングラデシュ	9	11	11	10	16
パキスタン	10	18	13	11	11
その他	134	181	181	121	130
登録者数合計	2,004	1,925	1,723	1,492	1,506
登録国数 (単位：国)	44	47	46	46	47

## ウ 在留資格別外国人数

(令和4(2022)年12月末日現在 単位:人)

在留資格	登録者数	在留資格	登録者数
教授	2	特定活動	51
研究	1	特別永住者	124
教育	30	日本人の配偶者等	90
企業内転勤	14	永住者の配偶者等	19
技能	17	定住者	66
技能実習1号イ	3	特定技能1号	115
技能実習1号ロ	53	高度専門職1号イ	1
技能実習2号ロ	42	高度専門職1号ロ	9
経営・管理	5	高度専門職2号	2
技術・人文知識・国際業務	162	宗教	1
技能実習3号ロ	19	その他	1
介護	1	永住者	450
文化活動	3		
留学	115		
家族滞在	110		
* 令和4(2022)年12月末日現在在在外国人登録者数(①+②) 1,506人			

## エ 市内大学等の留学生数の推移

(平成30年から令和2年は5月1日現在、令和3年から3月1日現在 単位:人)

大学名 \ 年	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
茨城大学工学部及び理工学研究科	144	147	137	129	101
茨城キリスト教大学	12	12	3	1	17
日立さくら日本語学校	76	73	28	28	27
留学生合計	232	232	168	158	145

注1) 留学生とは、在留資格が「留学」の者である。

注2) 市内大学等に所属している留学生のため、市外在住者も含む。

## (2) 茨城県内の外国人市民数

### ア 県内国籍別外国人数

(各年1月1日現在 単位：人)

国名 \ 年	平成30年 (2018)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)
中国	12,788	13,390	12,676	11,389	11,702
ベトナム	7,509	9,499	10,975	11,657	14,607
フィリピン	10,111	9,910	9,763	9,831	10,564
ブラジル	5,577	5,901	5,842	5,678	5,822
タイ	4,682	4,836	4,946	4,846	5,198
インドネシア	3,692	4,235	4,162	3,922	5,885
韓国又は朝鮮	4,533	4,530	4,116	4,330	4,054
スリランカ	2,369	2,719	2,980	3,016	3,350
ペルー	1,555	1,569	1,556	1,565	1,600
台湾	1,309	1,343	1,225	1,187	1,269
その他	10,582	11,596	12,674	12,462	15,370
登録者数合計	64,707	69,528	70,915	69,883	79,421
登録国数(単位：国) ※無国籍を除く	147	150	150	150	156

<県女性活躍・県民協働課調べ>

### イ 県内市町村別外国人数

(令和5(2023)年1月1日現在)

順位	市町村名	登録者数(人)	順位	市町村名	登録者数(人)
1	つくば市	12,090	11	龍ヶ崎市	2,475
2	常総市	5,905	12	下妻市	2,439
3	土浦市	4,880	13	ひたちなか市	2,046
4	古河市	4,301	14	取手市	1,999
5	水戸市	3,714	15	小美玉市	1,765
6	筑西市	3,344	16	かすみがうら市	1,635
7	坂東市	3,295	17	牛久市	1,573
8	鉾田市	3,172	18	日立市	1,504
9	神栖市	2,696	19	境町	1,428
10	結城市	2,535	20	八千代町	1,427

<県女性活躍・県民協働課調べ>

注) 上記は、県内各市町村が令和5(2023)年1月1日現在現在の外国人登録人員数を法務省に報告する「期報」を県がとりまとめた数値であり、出国等による登録抹消に係る処理は行われていない。(市町村集計速報値)

ウ 県内市町村・人口に占める外国人の割合

(単位：人)

	市町村名	外国人登録者数 (A)	人口 (B)	人口比 (A/B)
1	常総市	5,905	59,711	9.89%
2	銚田市	3,172	44,946	7.06%
3	八千代町	1,427	20,467	6.97%
4	坂東市	3,295	51,299	6.42%
5	境町	1,428	23,930	5.97%
6	大洗町	900	15,135	5.95%
7	下妻市	2,439	41,768	5.84%
8	結城市	2,535	49,665	5.10%
9	つくば市	12,090	253,490	4.77%
10	かすみがうら市	1,635	39,406	4.15%
11	稲敷市	1,445	37,453	3.86%
12	行方市	1,163	30,830	3.77%
13	小美玉市	1,765	47,698	3.70%
14	五霞町	287	7,799	3.68%
15	土浦市	4,880	141,986	3.44%
16	筑西市	3,344	98,967	3.38%
17	美浦村	476	14,124	3.37%
18	龍ヶ崎市	2,475	75,516	3.28%
19	古河市	4,301	137,972	3.12%
20	神栖市	2,696	94,652	2.85%
21	利根町	381	14,952	2.55%
22	阿見町	1,199	49,776	2.41%
23	茨城町	707	30,434	2.32%
24	河内町	162	7,732	2.10%
25	取手市	1,999	103,720	1.93%
26	牛久市	1,573	84,025	1.87%
27	石岡市	1,296	70,954	1.83%
28	守谷市	1,261	69,551	1.81%
29	鹿嶋市	1,017	65,738	1.55%
30	つくばみらい市	736	50,886	1.45%
31	北茨城市	580	40,438	1.43%
32	潮来市	384	26,788	1.43%
33	桜川市	535	37,428	1.43%
34	水戸市	3,714	269,203	1.38%
35	ひたちなか市	2,046	154,770	1.32%
36	笠間市	949	71,901	1.32%
37	常陸大宮市	386	37,900	1.02%
38	東海村	385	37,958	1.01%
39	<b>日立市</b>	<b>1,504</b>	<b>168,409</b>	<b>0.89%</b>
40	高萩市	222	26,608	0.83%
41	大子町	107	14,806	0.72%
42	城里町	106	17,489	0.61%
43	那珂市	299	52,856	0.57%
44	常陸太田市	215	46,434	0.46%
	合 計	79,421	2,837,570	2.80%

< 県女性活躍・県民協働課調べ >

注) 外国人登録者数及び人口は、令和5(2023)年1月1日現在の数値



## (3) 茨城県及び県内市町村の姉妹都市提携状況

(令和5(2023)年2月末日現在)

市町村名	姉妹都市等提携都市	提携年月日
茨城県	エミリア・ロマーニャ州 (イタリア)	昭和 61(1986)年 4月 17日
	エソンヌ県 (フランス・イル・ド・フランス州)	昭和 61(1986)年 4月 22日
水戸市	アナハイム (米国・カリフォルニア州)	昭和 51(1976)年 12月 21日
	重慶市 (中国・四川省) ※友好交流都市	平成 12(2000)年 6月 6日
日立市	バーミングハム市 (米国・アラバマ州)	昭和 57(1982)年 4月 23日
	タウランガ市 (ニュージーランド)	昭和 63(1988)年 4月 18日
土浦市	パロアルト市 (米国・カリフォルニア州)	平成 21(2009)年 4月 7日
北茨城市	ワイロア地区 (ニュージーランド)	平成 11(1999)年 5月 8日
常陸太田市	余姚市 (中国・浙江省) ※友好交流都市	平成 11(1999)年 11月 17日
東海村	アイダホ・フォールズ (米国・アイダホ州)	昭和 56(1981)年 7月 3日
那珂市	オークリッジ (米国・テネシー州)	平成 2(1990)年 10月 29日
古河市	三河市 (中国・河北省) ※友好交流都市	平成 11(1999)年 11月 6日
結城市	メッヘレン (ベルギー・アントワープ州)	平成 8(1996)年 10月 31日
	メーサイ市 (タイ)	平成 24(2012)年 11月 19日
取手市	ユーバ市 (米国・カリフォルニア州)	平成 1(1989)年 11月 28日
	桂林市 (中国・広西壮族自治区) ※友好交流都市	平成 2(1990)年 5月 7日
牛久市	ホワイトホース (カナダ・ユーコン準州)	昭和 60(1985)年 4月 19日
	オレンジ (オーストラリア・ニューサウスウェールズ州)	平成 2(1990)年 7月 28日
	グレーヴェ・イン・キアンティ市 (イタリア・トスカナ州フィレンツェ県)	平成 25(2013)年 12月 16日
つくば市	ケンブリッジ (米国・マサチューセッツ州)	昭和 59(1984)年 5月 8日
	アーバイン (米国・カリフォルニア州)	平成 1(1989)年 8月 3日
	深圳市 (中国・広東省) ※友好交流都市	平成 16(2004)年 6月 9日
	グルノーブル市 (オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州イゼール県)	平成 25(2013)年 11月 12日
鹿嶋市	塩城市 (中国・江蘇省) ※友好交流都市	平成 14(2002)年 11月 8日
	西帰浦市 (韓国・済州道)	平成 15(2003)年 11月 26日
守谷市	マインブルク (ドイツ・バイエルン州)	平成 2(1990)年 11月 3日
	グリーンリー (米国・コロラド州)	平成 5(1993)年 8月 3日
坂東市	パインブラフ (米国・アーカンソー州)	昭和 61(1986)年 11月 9日
	タリ市 (パプアニューギニア・ヘラ州)	平成 16(2014)年 7月 10日
稲敷市	サーモンアーム市 (カナダ・ブリティッシュコロンビア州)	平成 18(2006)年 3月 27日
神栖市	ユーリカ市 (米国・カリフォルニア州)	平成 3(1991)年 11月 17日
	上虞市 (中国・浙江省) ※友好交流都市	平成 21(2009)年 2月 16日
小美玉市	アビリン (米国・カンザス州)	昭和 59(1984)年 10月 3日
美浦村	桂林市臨桂県 (中国・広西壮族自治区) ※友好交流都市	平成 2(1990)年 11月
阿見町	スーペリア (米国・ウィスコンシン州)	平成 7(1997)年 4月 11日
	柳州市 (中国・広西チワン族自治区)	令和 3(2021)年 6月 1日
境町	マリキナ市 (フィリピン・マニラ都市圏)	平成 29(2017)年 5月 17日
	ホノルル市 (米国・ハワイ州)	平成 30(2018)年 9月 25日
桜川市	シリストラ市 (ブルガリア・シリストラ州)	平成 28(2016)年 9月 14日
	バコール市 (フィリピン・カヴィデ州)	平成 30(2018)年 5月 23日
笠間市	ラール市 (ドイツ・バーデン・ヴェルテンベルク州)	平成 30(2018)年 5月 13日
大洗町	オトフォツク市 (ポーランド・マゾヴィエツキ県)	令和 1(2019)年 5月 22日
八千代町	ラックズオン県 (ベトナム・ラムドン省)	令和 4(2022)年 10月 26日

【合 計】 1 県 25 市町村 【提携都市】 43 都市 (米国 14、中国 9、ドイツ 2 ほか)

(4) 日立市の国際交流のあゆみ（年表）

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミンガム市	タウランガ市	
1973 (S48)			日立国際友好協会(HIFA)発足
1974 (S49)			ドイツ(旧西ドイツ)少年少女合唱団、デンマーク体操親善訪問団が来市 HIFA が小・中学校の児童生徒との交流を企画
1975 (S50)			日立市紹介パンフレット(英文)を作成
1979 (S54)			市制 40 周年を記念し、海外都市との姉妹都市提携について検討開始
1980 (S55)	(4 月)バーミンガム市から、姉妹都市提携の希望が寄せられる。		
1981 (S56)			(10 月)バーミンガム市との姉妹都市提携推進を目的に、姉妹都市提携協議会が発足 (10 月)HIFA がフィリピンへ親善訪問団を派遣 バスケットボールや衣類を贈る。
1982 (S57)	(4 月 23 日)姉妹都市提携調印式出席のため、立花市長(当時)一行がバーミンガム市を訪問		(1 月)姉妹都市提携協議会を発展させ、日立姉妹都市協議会が発足
1983 (S58)	(4 月)バーミンガム市リチャード・アーリントン市長(当時)一行 15 人が来市 学校訪問、企業見学等を通じて交流を深める。 (8 月)バーミンガム市からバルカン像と石灯ろうの交換について提案が寄せられる。		
1984 (S59)	(8 月)バーミンガム市から、最初の英語指導助手(AET)を任用 (12 月)茨城大学とアラバマ大学バーミンガム校(UAB)が大学間協定を締結		
1985 (S60)	(7 月)国際青年年に伴い、バーミンガム市青少年一行が来市 (7 月)日立市からバーミンガム市に石灯ろうを贈る。 (9 月)バーミンガム市からバルカン像が贈られる。 (10 月)バルカン像贈呈式出席のため、バーミンガム市議会議長一行が来市 (11 月)石灯ろう贈呈式出席のため、市民訪問団 15 人がバーミンガム市を訪問	(11 月)タウランガ市ノエル・ポープ市長(当時)夫妻が来市し、姉妹都市提携の希望を寄せる。	
1986 (S61)	(8 月)第 1 回姉妹都市交歓研修生として、中学生 7 人がバーミンガム市を訪問		

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
1986 (S61)	(8月)アラバマ大学演劇グループが来市 市民会館等で公演を行う。	(6月)市民みこし訪問団 151 人が NZ ジャパンウィークに参加したほか、タウランガ市を訪問	
1987 (S62)	(8月)第 2 回姉妹都市交歓研修生 7 人がバーミングハム市を訪問	(8月)タウランガ市男子高校(タウランガ・ボーイズ・カレッジ(TBC))生徒 20 人が来市 (12月)タウランガ市との姉妹都市提携について市議会で議決	(7月)日立アメリカ社(日立製作所の米国現地法人)の後援により、米国人教師 4 人が来市(日米欧教諭交流プログラム(HISTEP))
1988 (S63)		(3月)ボーイスカウト日立第 5 団の青少年がタウランガ市を訪問 (3月)第 3 回姉妹都市交歓研修生 14 人がタウランガ市を訪問 (4月 18 日)姉妹都市提携 (4月)調印式出席のため、ポーブ市長(当時)ほか、タウランガ市民 58 人が来市 併せて NZ 物産展を開催 (4月)タウランガ市から最初の AET を任用 (10月)第 1 回日立市民親善訪問団一行 40 人がタウランガ市を訪問	(4月)市に国際交流室(担当)を設置
1989 (H1)	(3月)第 4 回姉妹都市交歓研修生 14 人がバーミングハム市を訪問 (8月)市制 50 周年を記念し、バーミングハム市青少年一行 17 人が来市 (9月)市制 50 周年を記念し、バーミングハム市から絵画が寄せられ、市展において展示	(8月)市制 50 周年を記念し、タウランガ市から青少年一行 17 人が来市 (9月)市制 50 周年を記念し、タウランガ市から写真が寄せられ、市展において展示	(3月)日立アメリカ社の後援により、市内中学教師を米国に派遣(HISTEP)(~H20)  (5月)日立姉妹都市協議会を発展させ、日立国際交流協議会が発足
1990 (H2)	(1月)市内の造園業者が「緑の使節団」としてバーミングハム市を訪問 桜の記念植樹やホームビジット等を通じて交流を深める。  (10月)市民訪問団 26 人(公募)が「フレンドシップツアー」としてバーミングハム市を訪問	(3月)日立南ロータリークラブとタウランガ南ロータリークラブが姉妹クラブを提携 (4月)タウランガ市キース・クラーク市長(当時)夫妻一行来市 (7月)第 5 回姉妹都市交歓研修生 14 人がタウランガ市を訪問 (10月)NZ 建国 150 周年を記念して開催された NZ 姉妹都市サミット(オークランド市・タウランガ市)に、市長代理として水庭収入役(当時)が参加	(7月)在住外国人向け生活ガイドブック「Living guide in Hitachi」を発行  (7月)英文月間イベント情報誌 HYOTAN を発行(~H18)
1991 (H3)	(7月)第 6 回姉妹都市交歓研修生 14 人がバーミングハム市を訪問  (10月)アラバマ大学バーミングハム校代表者が来市	(2月)日高小学校と成沢小学校でタウランガ市小学生の絵画を展示 (8月)TBC 生徒 16 人が来市 タウランガ市の教育事情を聞く集いを開催 (8月)ボーイスカウト日立第 1 団がタウランガボーイスカウト第 1 団と姉妹団提携	(7月)HIFA と日立青年会議所の共同編集により、英文の市街地図「Making moves in Hitachi」を発行 (10月)カリフォルニア州との同時開催による「クリスト・アンブレラ展」を実施  市職員 6 人を海外研修に派遣(以降毎年)

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
1992 (H4)	(3月)バーミングハム市から中学生親善姉妹都市研修団 28 人が来市	(7月)第7回姉妹都市交歓研修生 14 人がタウランガ市を訪問	(2月)姉妹都市紹介パンフレットを発行
1992 (H4)	(5月)バーミングハム市在住の元米国海軍指揮者が来市し、日立市民吹奏楽団で客演	(10月)第2回日立市民親善訪問団 34 人がタウランガ市を訪問	
	(7月)姉妹都市提携 10 周年を記念し、青少年親善大使 16 人がバーミングハム市を訪問		
1993 (H5)	(2月)日立市民まちづくり視察団 16 人がバーミングハム市を訪問	(8月)TBC 生徒 17 人が来市	(2月)市職員 97 人と外国人留学生との意見交換会や異文化理解研修会を開催
	(4月)バーミングハム市市民訪問団 16 人が来市	(9月)姉妹都市提携 5 周年を記念し、クラーク市長(当時)及び市民訪問団 34 人が来市。シビックセンターでマオリグループによるコンサートを開催	(3月)外国人向け生活情報ガイドブック「Living guide for Hitachi」(英語併記)発行
	(4月)バーミングハム広域圏開発局長一行 6 人が来市 両市の経済状況懇談のため、日立商工会議所を訪問		(4月)単身の男子留学生ための滞在施設「おおせ国際寮」を開設
	(8月)第8回姉妹都市交歓研修生 14 人がバーミングハム市を訪問		(9月)HIFA が外国人向けの情報提供のため、「インフォメーション・デスク」を開設
1994 (H6)	(6月)バーミングハム市青少年親善大使 20 人が来市	(7月)第9回姉妹都市交歓研修生 14 人がタウランガ市を訪問	
		(9月)マウント・マンガヌイ高校生 14 人が来市	
	(12月)(財)日立市科学文化情報財団主催のひたちパソコン画伯コンテストに、バーミングハム市民の作品が応募される。(～H16)	(10月)日立市女声合唱団がタウランガ市を訪問し、コンサートを開催 (12月)タウランガ男子高校ラグビーチーム 33 人が来市	
1995 (H7)	(8月)第10回姉妹都市交歓研修生 14 人がバーミングハム市を訪問	(8月)TBC 生徒 17 人が来市	(3月)日立市の市民みこしが、ハワイの「第1回ホノルルフェスティバル」に参加 (4月)市内の国際交流ボランティアグループの編集により「Bilingual Guidebook for Hitachi - 日英語による日立ガイドブック」を発行 (10月)グラスネット(草の根国際交流全国ネットワーク)フォーラム全国大会が日立市で開催
1996 (H8)	(3月)アラバマ大学バーミングハム校(UAB)の副学長と国際センター長が来市し、講演会を行う。	(1月)日立商工会議所の経済視察団 18 人がタウランガ市を訪問	
	(5月)バーミングハム市青少年親善大使 31 人が来市	(2月)タウランガ市から経済視察団 4 人が来市	
	(6月)日立第二高等学校にバーミングハム市から 2 人が留学	(7月)第11回姉妹都市交歓研修生 14 人がタウランガ市を訪問	
	(10月)飯山市長(当時)と市民訪問団 21 人がバーミングハム市を訪問	(9月)ポーブ市長(当時)を団長とする市民訪問団 6 人が来市	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
1997 (H9)	(7月)姉妹都市提携15周年を記念し、バーミングハム市市民訪問団11人が来市	(4月)日立商工会議所がタウランガ市英語学校長及び理事と懇談	(5月)NZ 全権特命大使が来市し、飯山市長(当時)を表敬訪問 姉妹都市交流等についての意見交換を実施
1997 (H9)	(7月)第12回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問	(7月)TBC生徒21人が来市	(6月)韓国の地方自治体行政視察団21人が来市
	(10月)行政視察のため、市職員2人をバーミングハム市へ派遣		(7月)オーストリア・ヴィーゼルブルグ市の音楽学校生徒が来市し、コンサートを開催 (10月)フルブライトメモリアル基金教員プログラムとして、米国教師20人が来市
1998 (H10)	(3月)バーミングハムの鈴木メソッド・バイオリングループ38人が来市し、コンサートを開催	(1月)タウランガ市男子高校生1人が、多賀高校に長期(1年)留学	(4月)日立市教育プラザ内に「国際交流サロン」を開設
	(5月)リチャード・アーリントン市長(当時)を団長に、バーミングハム市市民訪問団4人が来市	(5月)姉妹都市提携10周年を記念し、第3回日立市民親善訪問団50人がタウランガ市を訪問	
	(5月)バーミングハム市青少年親善大使25人が来市	(7月)第13回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問	
	(7月)バーミングハム市の中学生1人が来市し、市民宅にホームステイ	(8月)タウランガ市民2人が市内視察のため来市	
	(8月)米国アラバマ・バレエ団芸術監督が来市	(11月)日立市産業祭でタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
1999 (H11)	(7月)バーミングハム市市民訪問団8人が来市	(4月)タウランガ市男子高校生1人が、多賀高校に長期(8ヶ月)留学	(6月)中国の新聞社一行が来市
	(7月)第14回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問		(7月)スペイン・リリア氏の音楽グループ118人が来市し、市内の音楽グループとジョイント・コンサートを開催 (8月)日独スポーツ少年団同時交流で、ドイツの青少年グループ12人が来市
2000 (H12)	(5月)バーミングハム市青少年親善大使23人が来市	(7月)TBC生徒13人が来市 (7月)第15回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問	
2001 (H13)	(5月)バーミングハム市青少年ジャズグループ21人が来市し、演奏会を開催	(4月)ポーブ市長一行7人が来市し、さくらまつりを見学	(3月)市勢ガイドブック「Welcome to Hitachi」(日本語・英語併記)を改定
		(7月)タウランガ市ガールガイド6人が、ガールスカウト日立クラブの招待で来市	
	(8月)第16回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問	(7月)日立市の三味線奏者(高校生)が、ポーブ市長の招待で1ヶ月間タウランガ市に滞在し、演奏会を開催 (12月)タウランガ市のピアニストが、約1ヶ月半にわたり来市し、記念コンサートを開催	
2002 (H14)	(7月)姉妹都市提携20周年を記念して、榎村市長(当時)と市民訪問団23人がバーミングハム市を訪問	(6月)タウランガ市の青少年奉仕グループ16人が来市	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミンガム市	タウランガ市	
	(10月)バーミンガム市のジャズ演奏者21人が来市し、コンサートを開催	(7月)第17回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問	
2002 (H14)	(11月)日立市産業祭でバーミンガム市のキルトを展示販売	(11月)日立市産業祭でタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
2003 (H15)	(3月)バーミンガム市の宇宙飛行士が来市し、第11回国際シンポジウムへの出演や駒王中学校での講演を行う	(3月)ガールスカウト日立クラブ団員10人がタウランガ市を訪問	
	(7月)バーミンガム市姉妹都市日本委員会のメンバー1人が来市	(5月)タウランガ市のピアニストと彫刻家が来市し、日立交響楽団との合同コンサートや彫刻展を開催	
	(7月)バーミンガム市で「日立キルト展」が開催 日立市のキルト愛好家の作品14点が紹介される。	(8月)KIWI-HITACHI CLUBのメンバー6人がタウランガ市を訪問 (10月)タウランガ市写真協会メンバーが来市し、シビックセンター及び市内百貨店において写真展を開催	
2004 (H16)	(10月)バーミンガム市のキルト作家をはじめとするアーティスト12人が来市	(2月)日立工業専修学校生徒がタウランガ市を訪問 (7月)TBC生徒15人が来市	
	(10月)第1回フレンドシップ・キルト展開催 日立市民とバーミンガム市民の作品展示のほか、フレンドシップ・キルトの交換を行う。	(7月)第19回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問 (10月)KIWI-HITACHI CLUBのメンバーがタウランガ市を訪問し、ガーデンフェスティバルに参加	
	(8月)第20回姉妹都市交歓研修生15人がバーミンガム市を訪問	(2月)日立工業専修学校生徒がタウランガ市を訪問 (4月)タウランガ市長一行11人が来市し、さくらまつり、日立さくらロードレース参加のほか、第1回日立市・タウランガ市姉妹都市会議、記念植樹等を行う。 (4月)タウランガ・ガールガイド一行10人が来市	
2005 (H17)	(10月)第13回世界地方都市十字路会議に伴い、バーミンガム市からパネリスト1人が来市	(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
2006 (H18)	(4月)バーミンガム・インターナショナル・フェスティバル参加のため、市民訪問団41人がバーミンガム市を訪問し、日立風流物からくり人形や能楽を披露	(2月)日立工業専修学校生徒がタウランガ市を訪問 (6月)国際親善姉妹都市実務研修派遣として、市職員1人をタウランガ市に9ヶ月派遣。タウランガ市役所市民サービス課において実務研修を実施	(8月)第25回日中学生会議第10回日本大会が日立市で開催され、中国各地の留学生31人が来市
	(6月)バーミンガム市青少年訪問団14人が来市	(7月)TBC生徒13人が来市 (7月)第21回姉妹都市交歓研修生15人がタウランガ市を訪問	(9月)日立市の観光ガイドマップを英語・中国語・韓国語版で作成
	(9月)第3回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品9点を展示	(8月)日立第二高等学校生徒19人がタウランガ・ガールズ・カレッジ(TGC)との交流のため、タウランガ市を訪問	(12月)韓国江原道行政視察団9人が来市し、日立地区産業支援センター等の視察を行う。

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミンガム市	タウランガ市	
		(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
2007 (H19)	(6月)かみね動物園開園50周年記念式典への出席及び動物交換事業の協議を行うため、バーミンガム市動物園代表者1人が来市	(1月)日立工業専修学校生徒がタウランガ市を訪問	(2月)奥日立きららの里にモンゴル国オブス県の有志の協力により、ゲル(遊牧民が利用する伝統的な住居)を設置し、「モンゴルの丘」を開設
2007 (H19)	(8月)第22回姉妹都市交歓研修生15人がバーミンガム市を訪問	(2月)茨城キリスト教大学生9人が、海外提携大学であるNZワイカト大学で語学研修を実施するにあたり、タウランガ市でホームステイプログラムを実施 (3月)ガールスカウト日立クラブ団員10人が、タウランガ・ガールガイドとの交流のためタウランガ市を訪問	(8月)姉妹都市の概要・交流のあゆみ等の紹介パンフレット「Our Sister Cities」を発行
	(9月)第4回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品6点を展示	(9月)タウランガ市ベツレヘムカレッジ生徒17人が来市 (11月)姉妹都市提携20周年を迎えるにあたり、櫻村市長を団長とするタウランガ市親善訪問団35人を派遣し、第2回日立市・タウランガ市姉妹都市会議で幅広い分野における長期的な交流事業についての具体的な協議を行ったほか、主要施設調査等を実施 (11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置	(10月)在住外国人向け生活・健康無料相談会を実施(以降毎年)
2008 (H20)	(3月)バーミンガム市動物園で開催される「全米動物園協会地区会議」に出席するため、市職員2人をバーミンガム市に派遣	(2月)日立工業専修学校生徒がタウランガ市を訪問 (2月)茨城キリスト教大学生9人が、NZワイカト大学で語学研修を実施するにあたり、タウランガ市でホームステイプログラムを実施	(4月)多賀消防署において、外国人研修生26人を対象に、年3回防火・安全対策講話を実施
	(6月)バーミンガム市青少年訪問団8人が来市	(4月)姉妹都市提携20周年を記念してタウランガ市スチュアート・クロスビー市長一行が来市。20周年記念セレモニー(新協定書調印式)や第3回日立市・タウランガ市姉妹都市会議、さくらまつり見学、市内視察等を実施 (7月)中学生海外短期留学支援事業として、中学生11人がタウランガ市を訪問 (8月)第23回姉妹都市交歓研修生15人がタウランガ市を訪問 (11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置	(10月)かみね動物園飼育員研修として、米国に飼育員1人を派遣
2009 (H21)	(2月)第5回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品8点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒100人がタウランガ市を訪問	(2月)市HPをリニューアルし、掲載情報を英語・中国語・韓国語に翻訳できる機能を設置

年	国際親善姉妹都市との交流		その他	
	バーミンガム市	タウランガ市		
2009 (H21)	(6月)バーミンガム市少年合唱団一行55人が来市し、フレンドシップ・コンサートの開催したほか、大久保小学校訪問、市内視察等を実施	(2月)茨城キリスト教大学生4人が、海外提携大学であるNZワイカト大学(タウランガ市)で語学研修を実施	(4月)消防本部において、外国人研修生81人を対象に、防火・安全対策講話を年4回実施	
		(4月)タウランガ市ガールガイド一行11人が、ガールスカウト日立クラブの招待で来市		
2009 (H21)		(7月)タウランガ市経済団体職員1人が来市し、樫村市長(当時)表敬訪問及び日立商工会議所訪問、「ひたち環境都市フェスタ2009」の視察等を実施	(5月)自治体職員協力交流事業として、中国から自治体職員1人を6ヶ月間受入れ、上下水道についての技術研修を実施	
		(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者2人が参加	(10月)医療通訳ボランティア研修会(全3回)を実施	
2010 (H22)	(2月)第6回フレンドシップ・キルト展開催で、バーミンガム市民の作品13点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒104人がタウランガ市を訪問	(6月)消防本部において、外国人研修生34人を対象に、防火・安全対策講話を実施	
	(6月)バーミンガム市青少年訪問団11人が来市	(2月)茨城キリスト教大学生6人が、NZワイカト大学(タウランガ市)で語学研修を実施		
	(7月)未来の科学者海外派遣事業として、中学生15人がバーミンガム市ほか2都市を訪問	(7月)中学生海外短期留学支援事業として、中学生12人がタウランガ市を訪問		
		(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者1人が参加		
2011 (H23)	(2月)第7回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品8点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒107人がタウランガ市を訪問	(1月)通訳ボランティア養成講座(全3回)を開催	
	(6月)バーミンガム市の子どもたちから東日本大震災復興応援メッセージ・絵画等約700点が届く。	(8月)日立第二高等学校生13人が、NZ短期留学として、タウランガ・ガールズ・カレッジでの授業参加、ホームステイ等を実施		
	(8月)バーミンガム市から東日本大震災復興応援寄付金として5,000NZドル(318,750円)が贈られる。	(8月)タウランガ市から東日本大震災復興応援寄付金として30,000米ドル(2,312,700円)が贈られる。	(11月)タウランガ市経済団体職員6人が来市し、吉成市長表敬訪問及び市内視察等を実施	(6月)日立国際交流協議会ツイッターでの国際交流関係の情報提供を開始
		(9月)日立市の子どもたちからバーミンガム市へ、東日本大震災時の支援に対するお礼のメッセージ約700点を送付	(11月)日本・NZ経済人会議に市職員2人が参加	
	(11月)バーミンガム市ロータリークラブから復興応援寄付金として5,000米ドル(385,750円)が贈られる。	(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者2人が参加		



年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミンガム市	タウランガ市	
2012 (H24)	(2月)第8回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品5点を展示	(2月)第8回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品2点を展示	(9月)外国人17人参加のもと、防災訓練を実施
		(2月)日立工業専修学校生徒90人がタウランガ市を訪問	
2012 (H24)	(3月)東日本大震災時の支援に対するお礼として、第8回フレンドシップ・キルト展で市民参加のもと作成したキルト作品をバーミンガム市に送付	(3月)東日本大震災時の支援に対するお礼として、第8回フレンドシップ・キルト展で市民参加のもと作成したキルト作品をタウランガ市に送付	
		(3月)ガールスカウト日立市国際交流委員会メンバー8人がタウランガ市を訪問し、姉妹都市交流キャンプ等を実施	
	(5月)姉妹都市提携30周年記念写真展を開催	(10月)吉成市長を団長とするタウランガ市親善訪問団11人を派遣し、第4回日立市・タウランガ市姉妹都市会議で、今後の交流についての事務レベルでの協議を実施	
	(6月)UAB 学生一行12人が来市		
	(6月)姉妹都市提携30周年記念フレンドシップイベントの開催	(10月)TGC 校長夫妻来市	
	(9月)バーミンガム市ウィリアム・ベル市長が来市 市防災担当者や教育担当者との懇談を行う。 (11月)姉妹都市提携30周年記念写真展を開催	(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者2人が参加	
2013 (H25)	(2月)第9回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品5点を展示	(2月)第9回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品6点を展示	(8月)日独スポーツ少年団同時交流で、ドイツの青少年グループ11人が来市
		(2月)日立工業専修学校生徒87人がタウランガ市を訪問	
	(4月)吉成市長及び市内医療関係者等5人がバーミンガム市を訪問	(4月)タウランガ・インターミディエイト・スクール学部長等3人来市 (4月)タウランガ市ガールガイド一行10人が、ガールスカウト日立クラブの招待で来市	(10月)日立港とメルセデス・ベンツのドイツ本社関連により吉成市長一行11人がドイツを訪問
(8月)UAB 講師1人が来市し、茨城キリスト教大学でイングリッシュキャンプを実施	(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者2人が参加		
2014 (H26)	(2月)第10回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品6点を展示	(2月)第10回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品5点を展示	
		(2月)日立工業専修学校生徒94人がタウランガ市を訪問	
	(5月)バーミンガム市学校関係者1人が来市	(4月)タウランガ市スチュアート・クロスビー市長一行が来市 第5回日立市・タウランガ市姉妹都市会議やさくらまつり見学、市内視察等を実施	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
2014 (H26)	(5月)UAB 学生一行 12 人が来市	(10月) 日立ユネスコ協会が、私の町のたからもの絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品 20 点を展示	
	(7月)日立北高等学校生徒 13 人がバーミングハム市を訪問		
	(8月)東日本大震災時の応援メッセージ等に対する謝意を伝えるため、中学生 15 人がバーミングハム市を訪問		
	(9月)バーミングハム市民訪問団 5 人が来市		
2015 (H27)	(3月)第 11 回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品 6 点を展示	(3月)第 11 回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品 8 点を展示	
	(6月)バーミングハム市キルトショーで、日立市のキルト愛好家の作品 18 点が紹介	(3月)ガールスカウト日立市国際交流委員会メンバー 10 人がタウランガ市を訪問し、姉妹都市交流キャンプ等を実施	
	(7月)日立北高等学校生徒 13 人がバーミングハム市を訪問	(9月)タウランガ市経済担当者 2 人来市	
	(12月)アラバマ日米協会が開催したイベントで、日立市のキルト愛好家の作品 6 点が紹介	(11月)日立ユネスコ協会が、私の町のたからもの絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品 31 点を展示	
		(11月)ひたち生き生き百年塾が、まちへのラブレター国際絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品を展示	
2016 (H28)	(2月)マーク・ジャクソンバーミングハム市姉妹都市委員会委員長が来市	(5月)タウランガ市特別支援教育関係者 6 人が来市	(8月)外国人 5 人参加のもと、茨城県・高萩市総合防災訓練へ参加
	(2月)第 12 回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品 6 点を展示		
	(5月)バーミングハム市青少年一行 15 人が来市		
	(7月)日立北高等学校生徒 9 人がバーミングハム市を訪問	(9月)タウランガ市青少年一行 7 人が来市	(11月) 外国人 3 人参加のもと、日立市と日立国際交流協議会共催の防災訓練に参加
	(9月)マーク・ジャクソンバーミングハム市姉妹都市委員会委員長ほか 1 人が来市		
	(10月)副市長を代表とした産業交流ミッション団 10 人を派遣	(11月)日立ユネスコ協会が、私の町のたからもの絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品 30 点を展示	
	(11月)日立総合病院からUAB附属病院に医師 2 人を派遣		
	(12月)バーミングハム市大学生グループ 6 人が来市		

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミンガム市	タウランガ市	
2017 (H29)	(2月)第13回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品6点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒90人がタウランガ市を訪問	
	(5月)元バーミンガム市姉妹都市委員会委員長を含む、バーミンガム市民訪問団5人が来市	(9月)タウランガ市青少年グループ9人が来市	
	(7月)日立北高等学校生徒13人がバーミンガム市を訪問	(10月)小川市長を団長とするタウランガ市親善訪問団13人を派遣し、第6回日立市・タウランガ市姉妹都市会議で、今後の交流についての協議を行ったほか、協議確認書の署人を行う。  (11月)日立ユネスコ協会が、私の町のたからもの絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品22点を展示	
2018 (H30)	(1月)副市長を代表とした産業交流団11人を派遣		(3月)外国人12人参加のもと、防災訓練を実施
	(2月)第14回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品11点を展示	(2月)第14回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品8点を展示  (2月)日立工業専修学校生徒93人がタウランガ市を訪問	
	(5月)元バーミンガム市姉妹都市委員会委員長を含む、バーミンガム市民2人が来市		
	(5月)バーミンガム市青少年一行10人が来市		
	(7月)日立北高等学校生徒10人がバーミンガム市を訪問		
		(8月)日立電鉄交通サービス(株)が主催する「第1回日立市中学生海外ホームステイ体験」に、市内中学生8人が参加	
	(9月)バーミンガム市バルカン公園運営関係者等2人が来市	(9月)タウランガ市経済関係者が来市 (9月)タウランガ市青少年一行5人が来市 (9月)タウランガ市姉妹都市提携30周年記念「姉妹都市交流写真パネル展」を開催	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウンランガ市	
2018 (H30)	(10月)日立市とバーミングハム市との産業コーディネーターである、カオリ・シェラー氏をはじめ、アラバマ日米協会役員等5人が来市	(10月)タウンランガ市姉妹都市交流関係者が来市	
	(10月)前バーミングハム市姉妹都市委員会委員長をはじめ、バーミングハム市経済関係者等4人が来市		
2019 (H31、R1)	(2月)UAB職員を含むバーミングハム市民2人が来市	(2月)日立工業専修学校生徒93人がタウンランガ市を訪問	(7月)サッカーを通じた国際交流を目的に、中国・北京市の中関村小学校グループ37人が来市
		(3月)ガールスカウト日立市国際交流委員会メンバー8人がタウンランガ市を訪問し、姉妹都市交流キャンプ等を実施	(11月)県内の視察のため、中国・重慶市の重慶精英人士訪問団32人が来市
	(5月)元バーミングハム市姉妹都市委員会委員長を含む、バーミングハム市民2人が来市	(6月)タウンランガ市教育関係者3人が来市	(11月)市内の視察のため、中国・四川省の四川師範大学附属実験学校の教員グループ13人が来市
		(8月)茨城交通(株)が主催する「第2回日立市中学生海外ホームステイ体験」に、市内中学生5人が参加	
		(9月)タウンランガ市青少年グループ6人が来市	
2020 (R2)		(2月)日立工業専修学校生徒78人がタウンランガ市を訪問	
	(6月)新型コロナウイルス感染拡大防止に役立ててもらったため、バーミングハム市及びタウンランガ市にマスク各2万枚を送付		
2021 (R3)	(4月)「国際親善姉妹都市ウィーク」写真パネル展にて、マスクを送付した際に送られた各市長からのメッセージを展示		
2022 (R4)	(10月)姉妹都市提携40周年を記念したバーミングハム市長からのメッセージを市報へ掲載	(9月)タウンランガ市姉妹都市交流関係者2人が来市	

## 【参考（定期的に実施している姉妹都市関係事業）】

- \*ニュージーランド研修(日立工業専修学校):平成 15 (2003) 年度～25 (2013) 年度 (毎年)、平成 28 (2016) 年度～ (隔年)
- \*フレンドシップ・キルト展:平成 16 (2004) 年度～  
(令和 2 (2021) 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止)
- \*日立市産業祭での姉妹都市コーナー設置:平成 17 (2005) 年度～ (隔年)
- \*バーミンガム市青少年訪問団一行来市:平成 18 (2006) 年度～ (隔年)
- \*日立市・タウンガ市市長訪問団の相互訪問:平成 20 (2008) 年度～ (3年に1回)  
第3回日立市・タウンガ市姉妹都市会議で決定 (平成 23 (2011) 年度は東日本大震災の影響により中止平成 24 (2012) 年度に実施)
- \*中学生海外短期留学支援事業:平成 20 (2008) 年度～26 (2014) 年度 (毎年)  
市内中学生のタウンガ市短期留学を支援 (平成 21 (2009) 年度は新型インフルエンザ流行により中止)
- \*未来の科学者海外派遣事業:平成 21 (2009) 年度～23 (2011) 年度 (毎年)  
姉妹都市交歓研修生派遣事業を、科学教育に重点をおいた内容とした事業に変更。(平成 21 (2009) 年度は新型インフルエンザ流行により中止)
- \*姉妹都市交歓研修生派遣事業:昭和 61 (1986) 年度～平成 20 (2008) 年度 (毎年)  
市内中学生を国際親善姉妹都市に派遣。第1回目はバーミンガム市、第2回目からバーミンガム市・タウンガ市に交互に派遣 (平成 15 (2003) 年度は SARS・テロ等の国際情勢の不安により中止)
- \*タウンガ市男子高校(タウンガ・ボーイズ・カレッジ(TBC))生徒来市:平成 3 (1991) 年度～18 (2006) 年度 (不定期)



## 令和4（2022）年度わたちの国際交流

- 発行年 令和5（2023）年3月
- 編集・発行 日立市生活環境部文化・国際課
- 連絡先 〒317-8601 日立市助川町1-1-1  
TEL 0294（22）3111 内線535  
FAX 0294（24）5301  
E-mail : kokubun@city.hitachi.lg.jp

